事業実施報告書

2020年度　宮崎市地元とつながる人材育成支援事業

「宮崎×キャリア」の探求2020

～学生の地元志向を高める企業訪問プロジェクト～

宮崎公立大学　川瀬隆千

目　的

若者の地元宮崎への定着を促進するためには、宮崎の企業等に関する情報をより具体的に提供する必要がある。学生の多くは地元宮崎に多くの魅力的な企業があることを知らないからである。

宮崎の企業や宮崎で働く魅力を伝えるには、宮崎の企業等に関する情報を提供していくことが必要であるが、その際、学生が自ら主体的に情報収集することが重要であろう。そこで、実際に地元で働いている卒業生とこれから働こうとしている学生たちとのコミュニケーションの場を作ることにした。

宮崎の企業や自治体で働く本学卒業生たちが自ら経験し感じている宮崎で働く魅力を直接学生に伝え、学生は地元で働く卒業生の声に耳を傾け、自分自身の将来の生き方を真剣に考える。そのような直接的で積極的なコミュニケーションによって、地元で働く魅力が発見されるであろう。このような取り組みは学生の就業意識を高めることも期待できる。

そこで、宮崎の企業等に勤める卒業生などに本学においでいただき、その人たちに学生が宮崎で働く魅力などについてインタヴューする「学生による企業･自治体インタヴュー」、および、その成果を学生が自らリモートで報告する「成果報告会」を実施した。

当初、学生が地元企業等を訪問することを計画していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、密を避ける観点から、学生が出向くのではなく、企業・自治体の方を本学にお招きし、学内の教室を使った分科会方式の「企業・自治体インタヴュー」を実施することにした。企業等の現場を見学できないことは残念だが、このような形で、学生と企業等とのコミュニケーションの機会を創出することにした。また、当初予定していた「一堂に会する形での成果報告会」を取りやめ、ZOOMを用いたリモートでの成果報告会を開催することとした。ZOOMのブレイクアウトルームなどの機能を使うことで、当初計画と遜色のない報告会を実施できることに加え、企業の方も参加しやすい形で報告会を開催することができる。さらに、取り組みの効果測定のためのアンケート調査もGoogle Formを用いてオンラインで行うことにした。

コロナウィルス感染防止の観点から当初計画を変更したが、本取組を通して、学生だけでなく、宮崎の企業や自治体、大学関係者にも「宮崎でのキャリア形成」や「地元とつながり、地元を支える人材の育成」について考えを深める機会を提供できたものと思われる。

方　法

本学では 2004 年から 2 年生の必修科目として「キャリア設計」を設置し、低学年のうちから学生のキャリア意識の向上を図ってきた。本取組は、「キャリア設計」の講義内容に、宮崎の企業・自治体に関する情報収集、地元で働く魅力とその現実について考え

る時間を加えることによって実施した。

地元企業への興味関心や、地元で働くことの魅力を高めるには、学生が自ら地元企業の情報を収集し、それらを他者に伝えることが必要である。このようなアクティブ・ラーニングは学生の積極性や実践力を育てることにもなる。

そこで、宮崎市内・宮崎県内の企業・自治体の協力を得て、「学生による企業・自治体インタヴュー」と「成果報告会」を実施した。具体的な取組方法は以下のとおりである。

１．取組の具体的な日程等

表１に取組の具体的な実施日程等を示す。2020 年度においては、本学の多くの授業がオンラインで行われたので、表１に示す事前演習や発表準備などもオンラインで実施された。ただし、企業・自治体インタヴューは分科会形式により対面で実施した。

表１　取組の実施日程等（2020 年～2021 年）

６月 12 日	・事業採択決定
９月 29 日	・学生に企業・自治体インタヴューの説明 企業等の情報を提示して、第５希望まで選ばせる。
11 月 10 日	・訪問先企業等を決定、学生に通知 ・事前アンケート ・企業・自治体インタヴュー事前演習①（グループワーク） 訪問企業についての情報収集（正式名称、事業内容、代表者・所在地・設立年月日、資本金・売上高・従業員数、企業理念・経営理念など）
11 月 24 日	・企業・自治体インタヴュー事前演習②（グループワーク） 訪問時のインタヴュー項目を考える（企業訪問の目的、企業情報を参考にインタヴュー項目を考える。共通質問として、宮崎で働くことのメリットとデメリット）。
12 月 1 日	・企業・自治体インタヴュー①
12 月 8 日	・企業・自治体インタヴュー②
12 月 15 日	・成果報告会での発表準備①（グループワーク） ポスター作成（企業情報、インタヴュー内容、感想をまとめる）
12 月 22 日	・成果報告会での発表準備②（グループワーク） ポスター作成（発表の準備）
１月 12 日	・成果報告会
１月 26 日	・事後アンケート
２月末	・「宮崎×キャリアの探求 2020」報告書作成

２．企業・自治体インタヴューの効果を検証するためのアンケート

本取組の効果を検証するため、「学生による企業・自治体インタヴュー」の実施前（事前アンケート）と「成果報告会」の実施後（事後アンケート）にアンケート調査を実施した。これらのアンケート調査は Google Form を用いてオンラインで行った。

１）事前アンケート

「学生による企業・自治体インタヴュー」の実施前のアンケート調査（事前アンケート）では、以下の質問を行った。

①地元志向尺度：米原・田中（2015）の作成した「地元志向」10 項目について５件法で尋ねた（今回は報告されない）。

②異文化志向尺度：前村（2011）の作成した 14 項目について５件法で尋ねた（今回は報告されない）。

③出身地：学生の出身地を「宮崎市内」「宮崎県内」「宮崎県外」から選ばせた。

④就職先として考えている場所：現在、学生が就職先として考えている場所として、「宮崎市内」「宮崎県内」「宮崎県外（出身地）」「宮崎県外（出身地以外）」「未定」から選ばせた。

⑤就職先として宮崎市内・宮崎県内を選んだ理由：現在、就職先として考えている場所として「宮崎市内」「宮崎県内」を選んだ場合には、その理由を表６に示す９項目から選ばせた（複数回答可）。

⑥就職先として宮崎県外を選んだ理由：現在、就職先として考えている場所として「宮崎県外」を選んだ場合には、その理由を表５に示す 11 項目から選ばせた（複数回答可）。

⑦就職先を未定とした理由：現在、就職先として考えている場所を「未定」とした場合には、その理由を記述させた（自由記述）。

２）事後アンケート

「成果報告会」後のアンケート調査（事後アンケート）では、事前アンケートと同様に、「出身地」「就職先として考えている場所」「就職先として宮崎市内・宮崎県内を選んだ理由」「就職先として宮崎県外を選んだ理由」「就職先を未定とした理由」を尋ねた。

結　果

１．学生がインタヴューした企業・自治体

学生がインタヴューした企業・自治体とその人数を表２に示す。

表２　学生がインタヴューした企業・自治体と人数

企業・自治体名	人数	企業・自治体名	人数
㈱宮崎銀行	12	JA宮崎グループ	11
ソラシドエア	25	宮崎県庁	14
㈱宮崎太陽銀行	8	㈱スズキ自販宮崎	8
MANGO㈱	12	宮崎ケーブルテレビ㈱	9
フェニックスリゾート㈱	26	㈱宮崎放送	11
㈱ホンダロック	8	㈱宮崎日日新聞	10
東京海上日動火災保険㈱	8	宮崎ガス㈱	8
霧島酒造㈱	13	宮崎商工会議所	8
SCSKニアショアシステムズ	8	テレビ宮崎	11

２.「学生による企業・自治体インタヴュー」成果報告会

巻末に「学生による企業・自治体インタヴュー」成果報告会において学生が発表したポスターを示す。表３は成果報告会に関する学生の感想である。

表３　「成果報告会」の感想

- 宮崎は働くのに適した環境だと感じた。宮崎での就職も、選択肢の一つとして、前向きに検討しようと思った。
- 宮崎が好きなので、将来は宮崎のためになるようなことができる企業に就職してみたいと思った。
- 今回の企業インタヴューなどの経験を通して宮崎での就職についても前向きに考えてもいいのではという気持ちが自分の中に生まれてきました。
- これまで県外就職しか考えていなかった私にとって考え方を改めるとても良い機会になった。これから就活が徐々に始まっていくが、県外に絞らず地元・宮崎の企業も視野に入れながら就職活動を行っていきたいと考えた。
- 宮崎で働くことのデメリットは私が想像していたよりもはるかに少なく、宮崎を大切にして、宮崎のために働く企業の皆さんはとてもかっこいいなと感じた。
- 宮崎で働くことに対して前向きな考えを持つことができた。宮崎出身者として宮崎に貢献できるような社会人になりたい。
- どの企業も、宮崎で働くメリットが非常に多かったので、嬉しく思った。
- 宮崎で働くことのデメリットとして、交通の便があまりよくないという点があげられていたが、昨今の新型コロナウィルスの影響を受けてzoomミーティングが増加し、解消されつつある。

・今回のインタヴューは私にとってとても貴重な体験となり、また発表をすることでしっかりと内容を自分の中で落とし込むことができました。
・企業インタヴューを通して企業の知らなかった一面などを知ることができたので、他の企業の説明会などにも積極的に参加したいと思えるようになった。
・情報を知るだけではなく、相手に伝えることで、より理解できることを改めて学ぶことができた。
・聞いてまとめるだけでなく、発表することでもっとその企業の魅力に気づくんだなと思った。発表しあうことはすごく大事なことだと思った。
・人に何かを伝える際、今回のような報告会においても事前の準備がとても大事だと学んだ。
・今回の発表会では、自分と他の班の発表を通して、自分の将来への関心が以前より高まったのと同時に、どうすれば相手にわかりやすく情報を伝えられるのかということにも意識を向けることができるようになったのではないかと思います。
・ただインタヴューをして終わりではなくポスターにまとめ、他の人に聞いてもらうことによって、自分たちがどんなことを学んだかなど、さらに理解を深めることができた。
・自分たちが知っていることを他の人に報告することで、さらに理解を深めることができて、とても有意義な時間を過ごすことができて良かったと思う。
・成果報告会を行うことで、自分がインタヴューした企業のことをより深く知ることが出来た。一つの企業について、企業情報を調べたり、ホームページをしっかり読んだり、パンフレットを見たりと、ここまで調べるような経験は今までにしたことなかったので面白かった。
・オンライン上でのこのような話し合いや共同作業を経験することが出来たので良い機会だった。
・今回の成果報告会でコロナ禍でも仲間と協力することや意見交換ができることを実感しました。
・みんなと一緒に協力しながら発表会までの計画を立てるのはとても楽しかったです。

・宮崎放送の黒木さんも発表に参加してくださってとても良かった。
・発表が終わった際に宮崎太陽銀行の人事部の方に褒められた。
・報告後に宮崎太陽銀行の人事部の方から「うまく私たちの事業やお話したことをまとめていただけていて、なおかつオンラインでここまで仕上げて頂けて良かった」というような言葉を頂くことができたので、ほかの学生にもうまく伝えることができたのではないかと感じる。
・企業の方もたくさん見に来られていて、みなさん大変喜ばれていたのでとても有意義な時間だったと思います。

・発表後に商工会議所の方が「すごくいい発表でした。わが社のことをしっかりと理解していて熱い思いも伝わってきてうれしかった」というフィードバックをもらいました。私たちもうれしかったです。

・どの企業も宮崎のことが大好きで宮崎のために何かしようと活動していることが印象的でした。
・同じ宮崎の企業でも共通点や違いを探すなど、比較ができたのが良かった。
・オンラインという新しい形ではあったものの、宮崎の企業、会社をより深く知る良いきっかけとなった。
・名前は聞いたことがある企業でも何をしているのかわからない企業についてよく知ることができた。
・仕事内容だけでなく、働く人の声も知れたのが良かった。
・社会人の方々が、様々な職種でどのように働いているのかも知ることができた。
・銀行はお金に関する業務だけを行っていると思っていたが実際には地域を活性するための取り組みも行っていることを知れてよかった。
・普段なら知ることのないいろいろな分野に触れられたためとても良い機会だったと感じています。
・それぞれの企業がコロナ禍での対応をしっかりと取っているのだなと感じた。昨年から働き方などが変わったという企業も多く、これからも変わり続けていくのだろうかと思った。

・企業が私たちに求めていることなどこれからの就活に役立つ内容がたくさんあった。
・今回の報告は、今後働くうえで必要な能力について改めて見直すことが出来た良い機会となった。
・企業で働く方々が、日頃何を考え、何を大切にしているのかを知ることが出来て、就職活動の参考になる。
・インターネットで調べるより何倍も信頼性があり、どのような社風なのかも感じることができた。
・キャリア設計で関わった方々が、楽しそうに誇りを持って働いてらっしゃることが伝わってきて自分の中で就活やこれからの将来に対する不安も少し減った。今年はもっと自分の将来のことと向き合って、後悔のないように努力をする年にしたいと感じた。
・県庁で働くうえで必要な能力と言われたコミュニケーション能力や協調性、折衝能力などは大学生活のなかでも大切なものであるということだ。これからこれらの能力を高めていけたらなと思った。

・将来、誇りをもって自分の好きな仕事ができるように、今から多くのことを経験して自分のやりたい仕事を見つけたいと思った。
・自分の得意不得意を決めつけて、選択肢を狭めるのではなく、苦手を克服してみるという考えを持ちたいなと思いました。
・今回学んだことを授業という枠組みだけで終わらせるのではなく、実際にこれからキャリアの形成をしていく中で活用していこうと感じました。
・将来のことについて考えるうえで参考になる部分が多くあったので有意義な時間になった。これを機に、もっと多くの企業や職業に目を向けたい。
・説明を聞いていると聞くほど、私ここに就職してもいいな、と就職先の候補が増えました。
・企業のことをしっかり調べることによって得られる知識量が全然違うということが分かりました。
・これまで、一つの職業について詳しく知ること機会はなかったが、今回のこの発表の準備をするにあたって、実際に聞いたこと以外にももっと詳しく知ろうと思い自分で調べたり、人に聞いたりして職業に興味を持ち、深く知ることによって自分もこんなことに興味があったのだと気づくことができた。

３．学生による企業・自治体インタヴューについてのアンケート調査

「学生による企業・自治体インタヴュー」および「成果報告会」の効果を検証するため、事前アンケート、事後アンケートを実施した。質問項目は前述の通りである。

１）分析対象者

11月10日に実施した事前アンケートに回答したのは、キャリア設計の受講生195名（男子58名、女子137名）であった。回答者の出身地別の内訳は、宮崎市内出身者45人（22.5%）、宮崎県内出身者39人（19.5%）、宮崎県外出身者111人（55.5%）であった。また、１月26日に実施した事後アンケートに回答したのは、160名（男子48名、女子112名）であった。

２）「就職先として考えている場所」の変化

表４に「就職先として考えている場所」の変化を示す。「就職先として考えている場所」が「宮崎市内」である者は、事前アンケートでは５人（2.6%）、事後アンケートでも４人（2.5%）で変化しなかった。「就職先として考えている場所」が「宮崎県内」である者も、事前アンケートで30人（15.4%）、事後アンケートで28人（17.5%）とほとんど変化しなかった。一方、「就職先として考えている場所」が「宮崎県外（出身地以外）」である者は、事前アンケートでは74人（37.9%）であったが、事後アンケートでは53人（33.1%）に減少した。このように、本取組においては、宮崎への就職希望を増やす効果は認められなかった。

表４　就職先として考えている場所とその変化（人数と%）

	事前アンケート		事後アンケート	
宮崎市内	5	2.6	4	2.5
宮崎県内	30	15.4	28	17.5
宮崎県外（出身地）	34	17.4	36	22.5
宮崎県外（出身地以外）	74	37.9	53	33.1
未定	52	26.7	39	24.4
合計	195	100.0	160	100.0

３）就職先として「宮崎県外」を希望する理由とその変化

「就職先として考えている場所」を「宮崎県外」と回答した者の理由とその変化を表５に示す。「県内企業を知らない」という理由が10.8%（事前アンケート）から5.6%（事後アンケート）に減少したのは、本取組の成果であろう。また、「宮崎では活躍できない」という理由も6.7%から2.5%に減少していた。

表５　「就職先として考えている場所」を宮崎県外と答えた理由と変化（人数と%）

	事前（N＝195）		事後（N＝160）	
宮崎では活躍できない	13	6.7	4	2.5
宮崎は給与水準が低い	35	17.9	27	16.9
県内企業を知らない	21	10.8	9	5.6
地元が県外	43	22.1	44	27.5
働きたい企業等が県外にある	35	17.9	23	14.4
宮崎は生活の便が悪い	41	21.0	31	19.4
宮崎には娯楽が少ない	39	20.0	29	18.2
県外に出てみたい	54	27.7	42	25.6
一人暮らしがしたい	25	12.8	15	9.4
宮崎が好きではない	3	1.5	3	1.9
その他	9	4.6	2	1.3

４）就職先として「宮崎市内」「宮崎県内」を希望する理由とその変化

「就職先として考えている場所」を「宮崎市内」「宮崎県内」と回答した者の理由とその変化を表６に示す。事後アンケートでは「宮崎が好き」「宮崎に貢献したい」という理由が増加した。このことは本取組の成果であろう。

表６「就職先として考えている場所」を宮崎市内･宮崎県内と答えた理由と変化（人数と%）

	事前（N＝195）		事後（N=160）	
宮崎が好き	27	13.8	25	15.6
働きたい企業等がある	3	1.5	3	1.9
親のそばにいたい	19	9.7	13	8.2
友だちが多い	12	6.2	11	6.9
宮崎に貢献したい	14	7.2	18	11.3
生活環境が良い	24	12.3	20	12.5
福利厚生が充実している企業が多い	4	2.1	3	1.9
県外の土地や雰囲気が好きではない	5	2.6	5	3.1
その他	5	2.6	3	1.9

５）出身地別に見た「就職先として考えている場所」とその変化

表７に示すように、事前アンケートでは宮崎市内出身で「就職先として考えている場所」が「宮崎市内」である者は４人（8.9%）だったが、事後アンケートでは１人（3.1%）に減少した。宮崎県内出身者においては、市内・県内を希望する者が若干増加した（15人・38.5%→16人・43.2%）。一方、市内・県内出身者で就職先として考えている場所を県外とするものは減少した。県外出身者においては「就職先として考えている場所」が「宮崎県外（出身地）」である者が増加した。

このように、本取組は宮崎の学生の地元就職希望を増やすことはできなかったが、就職先として県外を希望する学生は本取り組み後に減少する傾向が認められた。

表７　出身地別に見た「就職先として考えている場所」の変化

	事前アンケート（N=195）					事後アンケート（N=160）				
出身＼希望	市内	県内	県外①	県外②	未定	市内	県内	県外①	県外②	未定
市内	4	9	—	24	8	1	8	—	14	9
	8.9	20.0	—	53.3	17.8	3.1	25.0	—	43.8	28.1
県内	0	15	—	16	8	1	15	—	12	9
	0.0	38.5	—	41.0	20.5	2.7	40.5	—	32.4	24.3
県外	1	6	34	34	36	2	5	36	27	21
	0.9	5.4	30.6	30.6	32.4	2.2	5.5	39.6	29.7	23.1
合計	5	30	34	74	52	4	28	36	53	39
	2.6	15.4	17.4	37.9	26.7	2.5	17.5	22.5	33.2	24.4

※県外①は宮崎県外（出身地)、県外②は宮崎県外（出身地以外）を示す。

まとめ

今回の取り組みでは、実際に地元宮崎で働いている卒業生とこれから働こうとしている学生たちとのコミュニケーションの場を作ることによって、学生たちに地元で働く魅力を伝えるために、宮崎で働く魅力についてインタヴューする「学生による企業・自治体インタヴュー」と「成果報告会」を企画・実施した。

その結果、学生たちは働くことへの意識を変え、自分自身の進路について真剣に考えると同時に、宮崎の企業・自治体についてさまざまな知識を得ることができ、また、宮崎で働くことの魅力にも気がついたようである。オンラインでの発表に戸惑いながらも、成果報告会をレベルの高い情報を共有できる良い機会と捉え、積極的に発表し、質問もしていた。働く人たちと学生との間の、また学生同士の、積極的なコミュニケーションによって、地元で働くことの魅力が発見され、広められていったものと思われる。

平尾・田中（2016）は、若者はさまざまな出会いを通して進路を選んでいくという。出会いは地元を離れる原因となる可能性もあるが、宮崎に貢献しようと働く人たちとの出会いは若者の積極的な地元志向を作り出す可能性がある。大学におけるキャリア教育ではそのような出会いの場を数多く提供することも必要である。

今回の取り組みは直接的には宮崎市内・宮崎県内での就職希望を増加させることはなかった。しかし、自ら情報を収集し発表することによって宮崎の魅力に気づき、宮崎での就職を考えるようになる学生も多いと思われる。

今回の取り組みを通して、「宮崎で就職すること」への学生の関心は確実に高まっていると考えられる。今後も積極的に情報を提供していくことが必要である。

引用文献

平尾元彦・田中久美子　2016　就職活動を通じた地元志向の変化　大学教育（山口大学大学教育機構），13，65-71.

前村奈央佳　2011　移動と定住に関する心理的特性の検討：異文化志向と定住志向の測定および関連性について　関西学院大学先端社会研究所紀要，６，109−124.

米原拓矢・田中大介　2015　地元志向と心理的特性との関連−新たな発達モデルの構築に向けて−　地域学論集（鳥取大学地域学部紀要），11，139−157.

フェニックスリゾート株式会社

渡邊華子・戸髙希宥・濱田真由・川畑志乃・古賀幸・久保みなみ・日高拓実
高見秋桜子・西川未悠・羽田野眞愛・星野雄哉・西牟田愛香・菰田萌愛

https://seagaia.co.jp/

1．フェニックスリゾートについて

正式名称　フェニックスリゾート株式会社

事業内容　ホテル、ゴルフ場、スパ、レジャー施設、温泉等の複合リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」の開発・運営

代表者　代表取締役　社長執行役員　片桐孝一
所在地　宮崎県宮崎市山崎町浜山3083番地
設立年月日　1988年12月27日

資本金　9,338万円
売上高　100億2,100万円
従業員数　750名

経営理念
「感動体験を創造し続けお客様を元気にする」

https://seagaia.co.jp/storage/articles/134/images/POOTgdMwmw7cTjuGzKpq4sD11XipWeboTvoHuHmR.jpeg

2．インタビュー内容

Q1.フェニックスリゾートで働こうと思った理由、きっかけ
A1.（企業の一人目の方）在学中は観光学部に所属（語学もとっていた）、人と接するのが好きなため。何かしてあげたいという気持ちが強く、日常ではおせっかいな性格でも仕事ではサービスとして受け入れてもらえる。

A2.（企業の二人目の方）一人目の方と違い、とても人見知りで、人と接するのはあまり得意ではない。最初はフェニックスリゾートでアルバイトを経験したのち中途採用。仕事としての自分の演技がお客様に伝わった時面白いと感じた。オンとオフが切り替えられる。

Q2.イベントはどれぐらいの期間で準備をするのか
A.イベントは外部との連携があるため期間としては長く、半年から一年。

Q3.仕事をしていて嬉しかったこと、やりがい
A1.お客さんが自分のことを覚えていてくれて、次来た時に部署移動をしたとき、自分を探して（当時はレストランに）来てくれたこと。来る目的はホテルでもその目的の中に自分がいることが嬉しい。

A2.仕事をしているときにお客様からありがとうと声をかけてもらえること。

Q4.コロナの影響と変化
A. はじめはこれからどうなるんだろうと不安だったが、今はGo to travelによりたくさんのお客さんに来てもらい、ゴールデンウィークや夏休み期間などの繁忙期と同じくらいの部屋が埋まっている。また、コロナでの休業期間の間黙って何もしないというわけではなく、ずっと思案していた、ドライブスルーを新しく加えた。需要が高く、現在は予想していたよりもはるかに多くのお客様が利用し長蛇の車の列ができる。

Q5.サービス業に進む場合身に付けておいた方がいいこと
A. 実際には入社してから学んだことが多いが、幅広い層のお客様を相手にするのでマナーや知識を身に付けておく。またマナーは日常であり、付け焼刃ではすぐにボロが出るため今のうちに普段から身に付けるようにする。

3．宮崎で働くこと

メリット
・出退時間が全国１短い（宮崎は出退時間が１位）。
・働く時間が短いこと。(変形労働時間制なので一概には言えない)
・自然が多くリフレッシュしやすいこと。

デメリット
・旅行に行く際に距離が遠く交通費や宿泊費など出費がかかること。

4．感想

自分の職業にやりがいを持って働いていることや、フェニックスリゾートがコロナ渦などの状況に陥っても打開策や新しい事業に踏み出すなど、これからの時代にどう対応していくかを考えているということ、またサービス業だけではなく様々な地域貢献の活動をしていることなどが企業の方の話の中でとても印象に残ったし、地元で働くということについて改めて考えさせられるきっかけとなった。

東京海上日動火災保険株式会社

岩本育也、高山さくら、中村絢菜、北山いづみ、野田真衣佳、松浦りな、川和田竜生

1．東京海上日動について

正式名称：東京海上日動火災保険株式会社
創業：1829年(明治12年)8月
事業内容：①損害保険業
②業務の代理・事務の代行
③確定拠出年金の運営管理業務
④自動車損害賠償保険事業委託業務
企業理念：お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点に置き、安心と安全の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と、経済の発展に貢献
特徴：グローバルコース、エリアコースなど働く場所も選択可能

TOKIO MARINE NICHIDO

2．インタビュー内容

Q:県内や公立大から就職する人数、また男女比は？
A:公立大学課からは現在12人、今年入社は3人。公立大学からの入社は全員女性。

Q：他の保険会社との違いは何か？
A:上司でも部下でもお互いフラットな会社づくりでお互いに信頼を高める。
コースや年次に問わず、若いころから大きな仕事を経験して実力をつける。

Q:東京海上日動に就職した理由は？
A:福利厚生が整っており、休みがとりやすい

Q:必要なスキルは？
A:主体性、考える力、実行に移す力、コミュニケーション能力、保険に関する知識

Q:一般の保険会社と代理店の違いは？
A:役割が異なる。保険会社は代理店に商品を提供、代理店は販売を行う

Q:いつやりがいを感じるか？
A:形のないものが、保険金という形として支払われるとき
災害時など、お客様を保険金の支払いによって支援できたとき
感謝の言葉をもらって貢献できたと感じるとき

3．宮崎で働くことのメリット・デメリット

メリット

・県民性が穏やかで、人が良く、働きやすい環境であること
・県内出身だと、地域貢献などで地元への貢献が実感できる

デメリット

・都会と比べて、人口が少なく、企業数や部門数が少ない
・開発部門やIT部門など、都市にしかない部門があり、宮崎ではそういった部門で働くことができない。

4．インタビューを通して

保険という目に見えない商品を扱う特殊な世界で信頼を得るためにどのような工夫がされているのかを知ることができました。どこの企業でもやっていることではなく、東京海上日動火災保険株式会社ならではの取り組みとプライドが業界ナンバーワンたる所以だと感じさせられるインタビューでした。

保険会社が何をしているのかということを知らなかったので、保険会社に何のイメージも持つことができていませんでしたが、今回実際に働いている方から、保険会社の仕事を知ることができて、保険会社に興味がわいてきました。

今回参加してみて、東京海上日動のことはほとんど知らなく、どのような会社だろうと思っていたが、社員を成長し、いいチームワークを作るために、フラットな関係を作り自由に忖度なしに議論ができるところ、さらに有休がとりやすいとった企業の福利厚生が素敵だと思いました。また、ライフイベントに合わせて働き方を変えることができることも魅力に感じました。制度が充実しているだけではなく、その制度が使いやすいということも、社員のやる気につながるのではと感じました。

東京海上日動火災保険は、人と人とのつながりを大事にしていると感じた。保険会社があまりなにをしているかわからなかった分、より保険会社に興味を持ち就職したいと思いました。

国内だけでなく海外にも拠点があるグローバルな会社であることを初めて知りました。

私が思っていたよりも幅広い業務を行い、また業務の形式も代理店を仲介してのものだと考えていませんでした。特に感じたのは、長く続く会社でありながら社員の関係がフラット化されていることへの驚きです。総じて、今回の講話では新たな発見ができました。

自分が今まで思っていた保険業の仕事内容とは異なっており、初めて知ることが多かったです。人間関係もフラットで、若手の社員が育ちやすい職場環境であると感じました。福利厚生も充実し、社員の方々が実際に利用しているので、女性でも働きやすい職場だと感じました。

宮崎ガス株式会社

泉田・大浦・喜馬・河野・児玉・新屋敷・中村・宮内

心豊かな未来へ・・・ 宮崎ガス

1．宮崎ガスについて

①正式名称
宮崎ガス株式会社

②事業内容
一般ガス事業および簡易ガス事業並びにガスに関する工事の請負、ガス機器の販売、液化石油ガスの販売、液化天然ガスの販売

③代表者・所在地・設立年月日
橋口光雄
宮崎県宮崎市阿波岐原町野間311番地1
昭和5年7月28日

④資本金・売上高・従業員数
資本金　1億8000万円
売上高　80億6900万円（2019年3月末）
従業員数　123人（2019年3月末）

⑤企業理念・経営理念
1お客様視点に立った提案と実行
2経営体質の強化と新たな事業への挑戦
3保安レベルの向上
4地域活性化につながる社会貢献活動推進
グループ各社の営業力、サービス力の強化と人材育成

2．インタビュー内容

Q1. どのような部署があるのか
製造・工務・開発・特需・営業・総務・料金・経理など

Q2. 新型コロナウイルスが流行しているが、料理教室などのイベントなどはどのようになっているのか
3月末までのイベントはすべて中止。ガス展、料理教室もなくなった。だがガス器具の展示はずっとしている。

Q3.「新たな事業への挑戦」とあるが、具体的にどのようなものがあるのか
ホテル買収、KING（重機レンタル会社）の買収、旭化成と協力して基地設立

Q4. 採用の基準
長く勤めてもらえるように社風に合っているのかを見ている。また前向きにチャレンジする人、自己成長が大事。

Q5. 待遇
昇給、賞与、社会保険、住宅手当、通勤手当

Q6. 入社前と入社後のギャップ
入社前…泥臭いイメージ、親近感がないイメージ
入社後…クリーンでスマート、余裕をもって仕事をしやすい。

3．宮崎で働くことのメリットとデメリット

メリット
地域貢献、宮崎と共にあるという部分

デメリット
田舎で横のつながり（交友関係）を築きづらい。

4．感想

・ここで働きたいと思える職場だと感じた。
・宮崎市にある身近な企業にも関わらず、知らないことが多くて驚いた。
・宮崎ガスに対する印象が変わった。色んな部署もあり、男女差別で職場が決まることはなく、また、楽しく仕事をされていることを知り、一度体験してみたいと思った。
・育児休暇や有給休暇消化率も大変よく、社員の人柄もよいとのことだったので、安定して長く働くことが出来そうだというところが魅力に感じた。

株式会社　ソラシドエア

村田、田中、熊本、濱砂、永野、蔦川、大森、黒木、廣本、三上、久保、白石

Solaseed Air

1．ソラシドエアについて

1. **正式名称**　株式会社ソラシドエア（Solaseed Air Inc.）
2. **事業内容**　定期航空運送事業等
3. **企業理念・経営理念**
〜安全を経営の基盤とし、サスティナブルな企業経営と地域社会への貢献を目指す〜
3. **代表者・所在地・設立年月日**
　髙橋宏輔・宮崎県宮崎市大字赤江 宮崎空港内（宮崎空港ビル2階）・1997/7/3
4. **資本金・売上高・従業員数**
　23億4,559万円・418億8000万円・850人
5. **ブランドプロミス**　「空から笑顔の種をまく」
6. **コーポレートカラー**　ソラシド・ピスタチオグリーン

2．業務内容

総合職（事務系）
国や関係機関との交渉・調整を行ったり、組織や人財のマネジメントを行う。
総合職（技術系）
現場の仕事だけでなく、航空機メーカーとともにマニュアルの作成を行ったり、海外で品質向上の事例発表を行う。
運航乗務職
機長、副操縦士の密なコミュニケーションに加え、客室乗務員や地上の運航管理者、管制官などとの連携を行う。
客室常務職
お客様が安心して過ごせるように常に最新の注意を払うとともに，ソラシドエアならではの親しみやすいサービスでおもてなしをする。

3．インタビューの内容

①ソラシドエアにしかない魅力は何ですか？
〜地域密着型の会社〜
・「空恋」プロジェクト
・九州沖縄のプロモータープロジェクト
・小学校での航空教室の開催
・復興支援事業（熊本震災）
・地域イベントに参加
　例）えれこっちゃ、祭り宮崎

②なぜ格安航空として運航できるのですか？
・14機全て同じ機種にする
・マルチに働く人材の育成

様々な仕事や人材育成において効率性を追求
↓
お客様に“安さのサービス”として還元する

③コロナによる影響・職場環境の変化はありましたか？
・13期連続で黒字→今期赤字
・変形労働制を積極的に利用
・在宅勤務の増加

表1 （株）ソラシドエア 2020年3月期決算

	営業収入	営業利益	経常利益	当期純利益
2019年3月期	41,973	3,185	3,160	2,118
2020年3月期	41,850	1,425	1,306	990
対前年比増減率	△0.2%	△55.2%	△58.6%	△53.2%

＊単位は百万円
同社HPからデータを引用し作成

出所）データマックス　NETIB NEWS（2020）

④大学生活のどのような経験が生かされていますか？
・自炊の経験
スケジュールに余裕がある学生のうちに、規則正しい生活を習慣づけることが重要。

⑤ソラシドエアを選んだ理由は？
・宮崎の良いところをもっと気軽に多くの人たちに知ってほしいと思ったから。

⑥どんな時にやりがいを感じますか？
・お客様や地域の人からの応援された時
・九州の魅力がお客様に伝わった時

⑦求める人材は何ですか？
「育む・変える・果たす」ことができる人

4．宮崎で働くこと

【メリット】
地域の情報がリアルタイムに得ることができる

【デメリット】
東京など都会の販売先の最新情報を得ることが難しい

5．感想

・地域密着型の会社であることが、小さな航空会社であっても、多くの人から愛されて、応援される理由の１つだと感じた。

・新型コロナウイルスによって打撃を受けているであろう航空会社であっても、在宅勤務を取り入れるように柔軟に変化に対応しているため、安心感のある働きやすい会社だと思った。

・単にサービスを提供するだけではなく、お客様の需要を考慮した働き方で運営されているように、多方面でおもてなしの工夫がされていると思った。

・飛行機のお腹のデザインなどの細かい部分にも工夫が施されているように、お客様目線で楽しんでもらえるような配慮がされている点に驚いた。

MANGO株式会社

田中大翔　愛甲奈生　内倉彩音　盛長安珠　飯伏玲奈　松田萌愛　小浜あゆみ　松元七海
圖師由梨亜　山野千花　佐々木さくら　福田莉音

会社概要

1、正式名称　MANGO株式会社
2、事業内容
運用型デジタル広告オペレーション
3、企業理念・経営理念
・チームワーク・責任感
・挑戦　　　　　・笑顔

チームワーク　責任感　挑戦　笑顔

インタビューの内容

Q1コロナ禍で働き方に変化はあったか

A,コロナ禍で働き方に変化はあったか—原則在宅勤務になった。常にZOOMをつないでいるため、連絡が取りにくいなど不便なことは特にない。ただ、どうしてもコミュニケーション不足に陥りがち→オンライン飲み会などでコミュニケーションを図っている。

Q2 応募する上で求められるスキルなどの有無について

A,特になし。仕事を効率よく進めるための時間管理能力を学生のうちから身につけておくと良い。

Q3 入社前と入社後の印象の違い

A,社会人にもしっかり休みがある。上司との距離が近いため、意見交換がしやすい。頼まれた仕事をこなすのではなく、自発的な精神が必要。

Q4 実際に関わった広告で印象に残っているものについて

A,・YouTube広告に関わったこと
・自分が全く知らない業界の広告の様々な様々なことが知れて面白かったこと

Q5 働いていて良かったこと

A,・プライベートがしっかり確保できること。
・インターネット広告に対する考え方が変わった。
・社会人スキルが身につく。
・精神的に自立ができる。
・仕事の中で、様々な業界との出会いがある。

Q6 入社一年目で大変だったこと

A, わからない業務・専門用語が多い。結構一から覚えることが多く大変

☆有給休暇がしっかり取れている
→**ユースエール企業認定**されている

※重要
現在コロナ禍で採用人数が増える傾向にある。

宮崎で働くこと

メリット
・住み慣れた土地であること
・就活であちらこちらに行かなくて良い
・通勤時間が短いこと

デメリット
・情報が遅れることがある。

感想

・社員の方全員の距離が近くお話を聞いているだけでとても良い職場であると伺えた。
・パソコンなどのスキルを一つも持っていないが入社してから身につくということでとても興味を持った。
・広告の仕組みについて知れて新しい発見があった。
・普段私がSNSやYouTubeで見ている広告の仕組みを知ったこともあり、とても身近に感じた。
・とても充実した説明会になった。

宮崎銀行

川上真美・黒木彩花・釈迦郡遥・鳥羽佑優李・中山菜摘・橋迫将弘・前田美空・三原美咲・吉野遥香・門脇菜々子・菊池竜生・堀海斗

1． 会社概要

① 正式名称（商号）

株式会社　宮崎銀行

② 事業内容

普通銀行業務・外国為替業務・投資信託業務・代理店業務ほか

③ 代表者・所在地・設立年月日

代表者　平野亘也

所在地　〒880-0805　宮崎県宮崎市橘通東 4 丁目 3 番 5 号

設立年月日　1932 年（昭和 7 年）7 月 27 日（日向興業銀行）

④ 資本金・売上高・従業員数

資本金　146 億円

売上高　連結：542 億 2200 万円

単体：484 億 4900 万円

（2018 年 3 月期）

従業員数　1421 名

（2019 年 3 月）

⑤ 企業理念・経営理念

地域との共存・共栄

2． インタビューの内容

Q1.　とっておいた方がいい資格はありますか？

・就職活動時点ではなし（但し、学生時代にどういうことをしていたかを証明するものとなる）

・内定後は証券外務員試験や各種保険の販売資格、銀行業務検定試験など

Q2.　総合職と特定職の違いは？

基本的にやることは一緒だが、大きく違うのは勤務地

Q3. コロナの影響はありましたか？

当行職員

テレワークの導入・本部でスプリット勤務の導入・テレビ会議の活用・採用試験で web 説明会や web 面接の導入・地産地消の推進

銀行業務

コロナ関連のご相談の増加・事業者向けの相談窓口及び休日相談窓口など

Q4. 国際部の仕事を教えてください。

ベテランの人が多く、外貨両替や外国送金・外貨預金などを行っている。海外企業のビジネスマッチングなども行う

Q5. 会社の雰囲気は？

・活気があって賑やか・縦横のつながりが強い・休みが多いので多趣味な人が多い

・向いている人→人とコミュニケーションをとることが得意、地域のために仕事をしたい人

・宮崎銀行では宮崎が抱える問題に対して様々な取り組みを大きく 5 つほど行っている。

① 宮崎の魅力を世界に伝えるために、地元企業と海外企業のマッチングや現地で商談者に同行するなどお客様の国際ビジネスに関わる支援に携わること。

② キャッシュレス化の普及への取り組み

③ 農業法人夢縫いファームの設立

④ 誰もが活躍できる社会にということで、女性の活躍の推進

⑤ 地元の若者を育てるために、学生向けのビジネスコンテストなどの開催

3． 宮崎で働くこと

メリット

（生活面）

・物価が安い

・身近なところに家族や友人がいる

・週末にリフレッシュできる環境

・子育てのしやすい環境

（仕事面）

・宮崎人は穏やかで優しい

・面倒見がいい

・通勤が楽

デメリット

（仕事面）

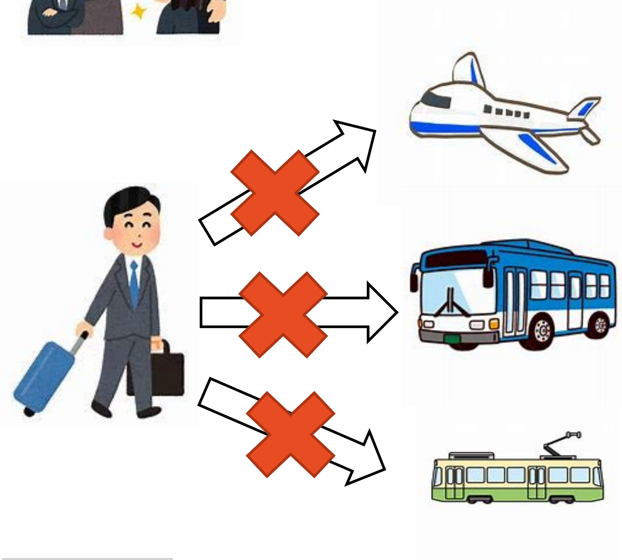
・都会と比べ給与水準が低い

・出張の際の移動の大変さ

（生活面）

・車がないと不便

・都市部へ行く時間と費用が掛かる



4． 感想

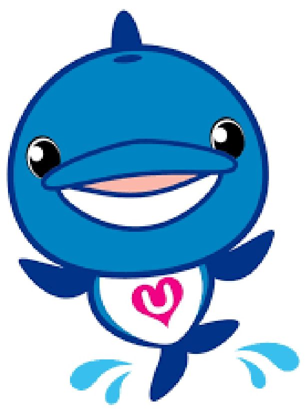
銀行員は堅いイメージがあったし、仕事は楽しいのかなと思っていたが、休みが多く私生活も充実できるというのに魅力を感じた。加えて、様々な顧客とコミュニケーションをとりながら、ビジネスのお手伝いができるという点にも魅力を感じた。銀行の仕事内容を知れてよかった。

正直、銀行員の仕事や業務内容に興味がなかったけれど、様々な業務があって、金銭的に支えてもらっているだけでなく、宮崎をより良くしていこうとする活動まであって驚きました。何より働いている人が楽しそうで、生き生きとしていて、宮崎で働くことにも魅力を感じました。

株式会社テレビ宮崎

岡部日菜・島崎清大・山田実侑・岩本翼・前田遼人・本田滋之・田中有希・山黒航平・久保田麻那・亀田花・平口凜

1.会社概要



①正式名称
　株式会社テレビ宮崎
②事業内容
　県民のライフラインである電波・放送に携わる放送事業。地域に密着した報道・制作番組や音楽・スポーツイベントを通して最新の情報と娯楽を提供。宮崎のローカル放送局として、地域の経済・文化・芸術の向上に貢献できるよう様々な活動に積極的に取り組んでいる。
③企業理念
　テレビ宮崎は、県民のライフラインである電波・放送に携わる放送事業者として高い良識と客観性を持って最新の情報と娯楽を提供し宮崎県の文化の向上と地域の発展に寄与しCRS（社会的責任）経営を推進することを使命とします。

50th You& UMK　テレビ宮崎開局50周年特設サイト

2.インタビュー内容

①情報を早く伝えるための工夫
現在
テロップ表示で速報を伝えたあと、番組内で詳細を伝える
今後
UMKアプリで発信し、アプリからYouTubeへ飛べるような仕組みに
②番組制作にあたって視聴者に配慮していること
テロップ表示は分かりやすく簡潔に
③コロナ流行後における番組制作方法の変化
・取材時の感染予防対策
・番組時間の短縮
・視聴者に行くことを勧めるようなニュアンスを含んだ言葉を使わない
・アクリル板の準備
・アポなし訪問をNGに
・ゲスト出演の中止
・取材時間の短縮
④テレビ宮崎に入ったからこそできたこと
・県外でのつながり
・自分が見たい番組の放送
・自分の好きな人と仕事ができたこと
・24時間テレビの放送後の反響

⑤UMKの強み
・3局クロスネットワーク局だから色んな局の番組を視聴者に届けることができる
・部署がワンフロアにあるため、連携がとりやすい

3.宮崎で働くこと

メリット
・人との距離感が近い
・通勤が楽
・実家が近いことに対する安心感
・1つ1つの会社が持つ影響力が大きい

デメリット
・都市部にあるような文化やできること（経験）が少ない
・上を目指しにくい

4.ここがすごい！

・テレビ宮崎開局５０周年ドラマ「ひまわりっ」がローカル・ドラマ賞受賞
・経済産業省と日本健康会議が選出する「2020健康経営優良法人（大規模部門)」として認定を受ける。

5.感想

・仕事に特化するでけではなく、社員の健康にも気を遣っているのが素晴らしい。。
・コロナ禍で大変な状況にも関わらず、臨機応変に対応しているのが素晴らしい。
・全部の部署が同じフロアに存在するため、社員間でのコミュニケーションを取りやすく、働きやすい環境だと感じた。

JA宮崎グループ(中央会・共済連・信連・経済連）

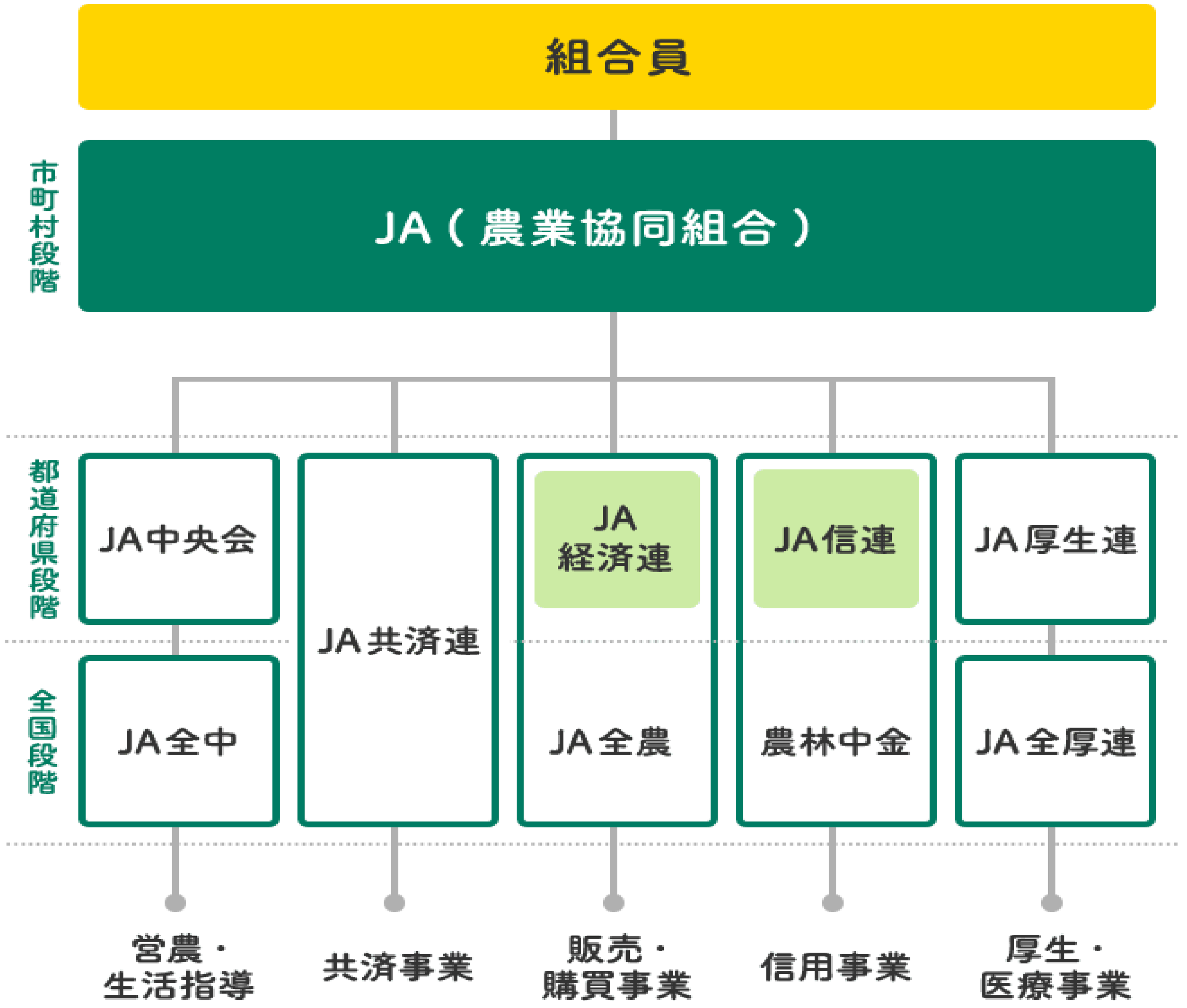
本部碧子 崎山南海 荻原理奈 大嶋楓 大浦ゆりか 松尾隼汰 林祐斗 里山素蘭 椎野由真 山下子龍 稲冨圭

JAについて

・**正式名称**
農業協同組合
JAとはJapan Agricultural Cooperativesの略称

・**事業内容**
▸営農事業・・・農家の相談、技術指導
▸経済事業・・・農畜産物の販売、生産・生産資材の供給
▸信用事業・・・銀行の仕事、貯金、融資
▸共済事業・・・保険の仕事、共済普及、共済の相談
▸その他　・・・高齢者福祉事業、葬祭事業など

・**組織について**
JAは一般的な企業とは違い、「組合員の最大限の所得確保」を理念に掲げ、農業者によって組織された組合である。
東京の全国農業協同組合中央会が組織する農協グループをJAグループと呼称し、それぞれの事業を行う組合が独立し、共済、経済、厚生などの多種多様の事業を展開している。
宮崎には、中央会、共済連、信連、経済連があり、宮崎の農業の活性や地域の発展に努めている。



JA宮崎中央会

組合員の所得増大、地域農業生産の維持・拡大への貢献
持続可能なJA宮崎経営基盤づくりへの貢献を重点に
取り組む(所得アップGO！GO! テン＋など）

・**主な事業**
JA宮崎グループの代表組織であり、各組合をまとめる。
JA グループの総合力発揮のため、総合的事業戦略を構築する。

JA宮崎共済連

JA共済は、共済を通じて「相互扶助(助け合い)」を理念に掲げ、主に保険に関わる事業を行っている。
保険を扱う株式会社とは異なり、あくまで組合員の利益や生活の向上を目的としている。

・**主な事業**
組合員の生活向上のため総合保障

JA宮崎信連

宮崎県を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを理念とし、地域経済の活性化に資する地域金融機関である。

・**主な事業**
貯金業務、貸出業務、為替・決済業務、資金証券業務
指導業務などを行っている

JA経済連

現場力、総合力、実行力という3つのキーワードを掲げ組織の経営資源を有効的に活用し、事業機能を最大限に発揮し、宮崎県農業の発展を目指す。

・**主な事業**
畜産物、農作物などの販売、宣伝
生産技術の指導

インタビュー内容等

・**宮崎で働くこと**
メリット
　実家に住みながら働けるためお金が貯まる。
　地元の友人と休日に遊べる。
　土地感や人脈を活かせる。
デメリット
　なし

・**新型コロナウイルス感染症の影響**
イベントの中止、商品の売れ残り(卒業式、結婚式等の中止の影響で、花の売り上げが低下)

・**求めている人材や能力、資格**
特別な能力や資格は求めておらず、大学でしか学ぶ事のできない事や経験でいることをたくさんしてほしい(実際に就職してから、指導や資格の勉強はできるため

フェニックスリゾート株式会社①

寺本・有村・石井・内倉・小川・小倉・小田・亀濱・竹下・橋口・松浦・松本

1．企業情報

①正式名称 フェニックスリゾート株式会社
②事業内容 ホテル、ゴルフ場、スパ、レジャー施設、温泉等の複合リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」の開発・運営
③企業理念・経営理念
「感動体験を創造し続けお客さまを元気にする」
Mission（使命）
感動体験を創造し続けお客さまを元気にする
Vision（ありたい姿）
日本でいちばん”美味しい”リゾートになる
Value（私たちの価値）
おもてなしの心（誠心）×創造は生命×積極進取

2. インタビュー内容

質問2.　宮崎の地域社会に貢献していると感じるのはどんな時か
→　・コロナにより修学旅行が中止になった小中学生のために企画を考え、実行した時
・観光産業の地域への発信
・MICE(会議)の受け入れ（市内の交通費、近隣のホテルの宿泊客、市街地の商業施設の利用客など、地域の様々なところに良い影響を及ぼしている）

質問3.　宮崎の良さを発信するためにしていることは何か
→　宮崎のおいしい食材を取り入れて県外から来たお客さんに紹介する

質問４．宮崎県内の企業と協力して行うことは何か
→クリスマス時期に花火会社と連携して花火打ち上げ、地元農家と連携して地元食材をレストランで使用、ＭＩＣＥ

質問5.　ほかのホテルと比べてフェニックスリゾートの強みは何か
→フェニックスリゾートの中だけで一日中楽しく過ごせるところが売りであり、
ただの宿泊施設ではなく、旅行の目的の１つとしてフェニックスリゾートを選んでもらえるような努力

質問6.　仕事をしていてやりがいを感じるのはどんな時か。
→お客さんから直接「ありがとう」という言葉をもらったとき

3. 宮崎で働くこと

宮崎で働くことのメリット
・通勤時間が短いため生活しやすい
宮崎で働くデメリット
・旅行に行くなど、他の都道府県に比べて休みの日にかかる時間やお金がかかる

4. まとめ

フェニックスリゾートは日々の接客やサービスの細部にもこだわり、旅の目的地となるリゾートとなっている。地域の食材をいかし、宮崎の活性化にも大きく貢献していた。男女問わず昇進の機会もあり、お客様から感謝の言葉をもらうこともできるとても良い職場だと感じた。苦手だったことがやっているうちに楽しくなったりするという話や、希望していない配属先になってもそれを自分の糧にするというお話は心に留めておきたいと思った。敬語やマナー、情報収集などが求められるということなので、日頃からその力を養っていきたい。

株式会社ホンダロック

名前 森祐太･佐々木優里･菊池奈々･椎田和也･岩見璃子･黒木あみ･ 山本拓海

会社概要

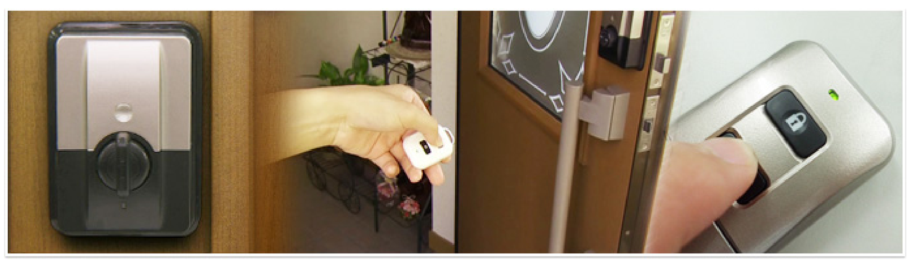
【設立】1962年4月5日

【所在地】〒880-0293 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂3700番地

【従業員数】9,629名（2020年2月現在）

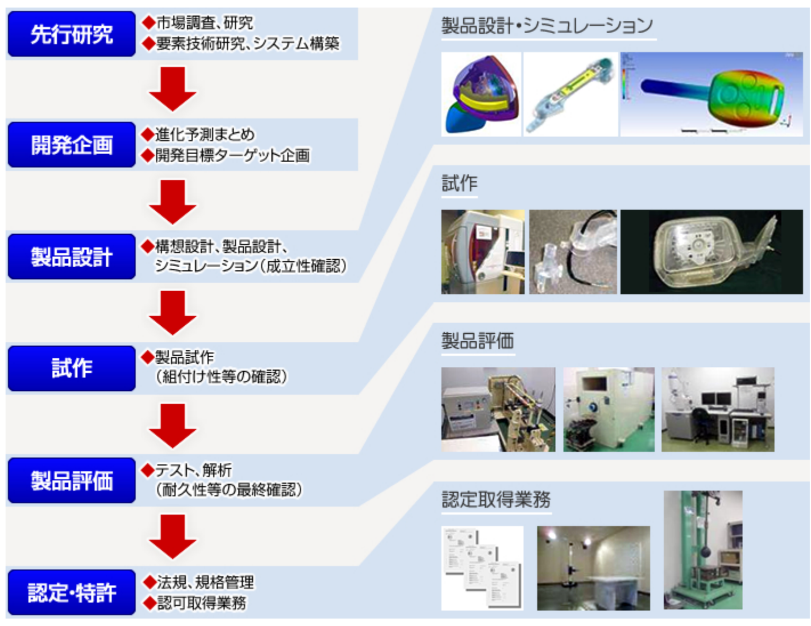
【納入先】
- 本田技研工業株式会社
- 川崎重工業株式会社
- スズキ株式会社
- いすゞ自動車株式会社
- 株式会社クボタ
- 株式会社ショーワ

〇業務内容
主な製品
・４輪自動車：ドアハンドル・スマートキードアミラー等
・２輪バイク：イグニッションキー・スイッチ等
・４輪２輪：スマートエントリーシステム
（近づくだけでドアが開くor エンジンがかかるようになるシステム）
・一般消費者向け；、住宅キーレスシステムeasy lockや自転車スマートキーシステムのラクイックなどの製造販売
（会社独自の製品）



〇開発生産販売まで一貫して行うホンダロック
１、企画構想段階
一営業マンがとってきた仕事をその後パソコンの専用アプリでイメージを作成、設計研究や市場に出して良い製品かどうか調べるため耐久テストなどを行う。
２、開発段階
３、量産段階
一機械を使って時間短縮をしている。
大量生産では一 秒の短縮ももののすごく大事になってくる。ホンダロックで使われている機械はホンダロックで作られてものを使用しているためトラブルがあった時も柔軟に対応することができる。

〇部署（部署の仕事内容）
大きく二つの部署がある。
・製造部門
・情報システム部門 営業、経営企画、経理、購買、人事、生産管理などの事務職



〇地域との関わりについて
交通安全指導、夏祭り、安全教室、海岸清掃活動、工場見学受け入れ、サッカースクールなど。
（国内）石崎川水系保全活動、周辺清掃活動
（海外拠点）全従業員による社内清掃活動、近隣学校での地域社会ボランティアサービス、従業員の子どもたちに品質・環境・安全の教育展開など。

〇福利厚生などのサポートについて
・社内食堂完備
・作業着貸与
・加入保険・その他（ホンダ健康保険、ホンダ企業年金などホンダ独自の保険が存在する）

〇**年間休日**は121日（ＧＷ9日、夏季休業10日、年末年始7日とまとまった休みが取りやすい）※基本週休二日制、平日の一部に残業をせずに定時退社する曜日が定められている。
〇**有給休暇**91.8%付与（有休取得率＝今年度の有休取得日数÷今年度の有休発生日数）
：入社時＝10日、勤続1年超＝15日、勤続3年超＝16日、勤続5年超以上＝20日
〇**残業時間**は労働組合の規定により会社側から厳しく制限されている。週10時間以上、月40時間以上の残業は禁止されている。

インタビュー内容

①海外の技術指導についてはどのようにおこなっていますか？

A、新製品の開発の際、新しいラインを作るときに海外での技術指導のために技術職に出張や駐在がある。その際には現地の通訳がつく。コロナ禍では、Web会議を主としているが、やむを得ない事情がある際には、現地へ赴く。さらに、事務職でも海外とのやり取りが多い。原価管理、出荷などの担当であると、外国語の経験が活躍する場面が増える。

②企業が求める人材とは？

A、「ホンダロックと関わる人たちとともに新しい喜びを求める企業として、自ら学び、行動する志を高くもった人材」

苦手なことにもチャレンジする、なんとか得意にできないかもがいてみる、得意を生かすのも大事。人間力大事。目に見えない内面的な要素　自分がどう思っているか　自分の考えを相手に伝える力が社会人になった時に大事になる。

③サポート体制についてはどのような施策がありますか？

〇**育児休暇**の取得率100%、休暇後の復職率も100%であり、時間短縮勤務も可能となるため、子育てをしながら働きやすい職場体制となっている（小６まで）

④配属先については､どのように決定されますか？
配属は事務系と技術系で選択が可能。
当人の希望に沿うことが多い。
個人の適性をみて決定される。

宮崎で働くこと

〇メリット:
自然や食。人のあたたかさを感じられるのも、良さの１つ。宮崎にUターンで、戻ってくるケースも多い。
〇デメリット:
交通の面。車が必須であること。
しかし、車での通勤にもメリットも有る。

感想

〇身の回りにあふれるモノづくりについて、興味が膨らむようなインタビュー体験。沢山の人の、精一杯の努力や誠意の詰まった製品づくりを感じることができた。（森）
〇どのような人材を雇用したいかという所は就活には勿論これからの自分の人生プランにも活かしていけるものだと思うので企業のことだけではなくそういうところまで知ることが出来て本当に良い機会だった。（佐々木）
〇一つの会社についてここまで深く知れる機会はなかなかないので授業を通してインタビューできて良かった。（菊池）
〇貴社は従業員の雇用や私生活を充実したものとして維持するためのサポート体制が十分に施されており、仕事と私生活の質をバランスよく保つことができる会社であると考えた。（椎田）
〇環境に配慮し、地域のための活動をたくさん行っていて地域との関わりが深い会社だと感じた。普段あまり関わることのない企業の細かいところまで知ることができてとても良い経験になった。（岩見）
〇独自の技術を応用して、モノづくりを行っているのが興味深かった。（黒木）

※画像：ホンダロックHPから引用

SCSKニアショアシステムズ株式会社

有川千優、有阪虹吟、今吉優季、工藤千夏、近藤有華、近澤秀明、宮下愛子、三好亜美

1．会社概要

①正式名称　SCSKニアショアシステムズ株式会社

②事業内容
　ITハード・ソフト販売・ITコンサルティング・システム開発・運用・BPO

③代表者・所在地・設立年月日
代表取締役社長　田邑富重
宮崎県宮崎市橘通東4-7-28　TOKIWA30ビル
2001年5月15日

④資本金　1億円
売上高　43億600万円
従業員数　350名

⑤企業理念・経営理念
「夢ある未来を、共に創る」
私たちの使命。夢ある未来を、共に創る。お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます。

2. インタビュー内容

①異動や転勤はありますか
・異動はできるが、家庭の事情による特別な理由がある場合のみ
・他の拠点への出張はあるが、最近は少ない

②文系出身の人に特別な苦労はありますか
・IT系の基礎知識が乏しい
・入社した時が大変
・応用情報技術者試験などの資格取得

３年たつと会社になじみ、役割を担うことができるようになる。また、理系の人も知識は持っているが実際に働くことになったらつまづく人もいる。

③コロナの影響はあったか
幅広い会社を支援しているため、売り上げが大きく落ちるということはなかった。リモートワークを活用したり、座席をフリーアドレスに変更したり、会議をオンラインで開催したりと、働き方は変わった。

④エンジニアが不足しているのは本当か、残業はあるか

・コロナの流れで企業業務のシステム化が進み、ニーズが高まっていることから不足傾向にはある
・仕事量は増えたが、残業は月に20時間程度

3. 宮崎で働くメリット・デメリット

メリット：
- 地元で働けること、家族・知人と会うことが容易
- 東京に比べると家賃や通勤ラッシュのストレスが低い
- 家賃や物価が比較的安いため住みやすい

デメリット：
- 他社員や顧客とのリアルなコミュニケーションが難しい

（リモートワークに慣れれば気にならない）

4. 感想

- 今まで抱いていたITへのイメージがかなり変わった。他の部門の人や顧客と綿密なコミュニケーションも必要で、プログラミング技術だけがすべてではないということも分かった。
- 地方にいながら日本を代表する企業の役に立てることが魅力的だと感じた。文系出身でも活躍できることに驚いた。
- 公共交通機関が発達していないので通勤は不便だと思っていたが、車通勤で通勤ラッシュがなく比較的ノンストレスな通勤がメリットとしてあげられていることが意外な気づきだった。
- これからの時代になくてはならない仕事であると同時に、知らず知らずのうちに自分もそれらのシステムに支えられていることが分かり理解が深まった。
- 今の時代、どこにいても同じ業務が出来るのは非常に魅力的なことだと思った。これから何年、何十年とみてもIT業界の仕事は他の業界よりも様々な面で優れていると感じた。

株式会社宮崎日日新聞社

渡邊裕香・山下玄・赤石晴陽・田尻美和・冨田千明・山口朝陽・宮里開・加藤竜矢・小川凛・岩本龍弥

宮崎日日新聞社について

正式名称
株式会社宮崎日日新聞社

企業理念・経営理念
「読者と共感、県民と共感」

創刊　1940（昭和15）年

発行部数…20万部
占有率…72%

社員数…252人
（男性 208人/女性 44人）

事業内容
〇日刊新聞、こども新聞、フリーペーパーの発行
〇新聞広告の企画、掲載
〇文化、スポーツなどイベントの企画や招致、開催
〇会員制ニュースサイト「デジタル夕刊プレみや」
〇県内企業と若者をつなぐサイト「宮崎県就職ナビ」の運営

インタビュー内容

①1年の業務の流れ、繁忙期について
1年の業務の流れは各部署によって異なる。繁忙期は特になく、記者は社会の流れに合わせて忙しくなる。

②10年後、紙媒体は今後どうなると思うか
全国の新聞の発行部数は確実に減少しているが、完全にインターネットを介したサービスになってしまうと、アクセスできない人たちへの情報の提供ができなくなってしまう。
情報を届けるという新聞の使命を果たすためには、必要としている人がいる限り、紙の新聞は発行され続ける必要がある。

③たくさんの人に新聞を読んでもらうための工夫
子ども向けの新聞の発行を通して、次世代へ活字に触れる習慣を持ってもらうことを目指している。企業や学校へと出向いて授業をすることもある。

④コロナ禍で取材方法は変わったのか
相手のコロナに対する気持ちに合わせて対面と電話取材等を使い分けている。しかし、自分の目で見る、自分の耳で聞くことが大事なので現場主義は変わっていない。

⑤株主の意見によって記事の内容に影響が出ることはあるのか
社是(会社の経営上の方針)の『公平な報道評論』『不偏不党』を絶対に守らないといけない。仮に広告主である企業が悪いことをしたとしても、その時はちゃんと記事にする。

⑥宮崎日日新聞社で働いていてよかったこと
名刺一つで、様々な職種の人の話を聞くことができること。

⑦宮崎日日新聞社で働いていて辛かったこと
辛い思いをした人にインタビューをするとき。

宮崎で働くことについて

宮崎で働くメリット
・暮らす環境が良く、子育てがしやすい。
・地元なので頼れる人が近くにいる。
・通勤時間が短い。

デメリット
・交通の便が悪い。
・華々しいものはない。

感想

・紙媒体のメディアが持つ特性や魅力に気づくことが出来た。新聞社として様々な取り組みに参加していることも知り、新聞を発行する会社というイメージに加え、社会に影響を与えるために働きかけている企業というイメージを持った
・世論を反映させる紙面を作成する企業の男女比があれほど偏ってもいいのかと不安になったが、育児や出産など偏る原因となる要因を排除しようという動きが現れていて、より安心して働ける企業であると感じられた。
・若者の活字離れに対して子ども新聞といった子供向けの取り組みは、本誌の内容とは違い、読みやすく分かりやすく、子どもを引き付けるような工夫が見られていいなと思った。
・紙媒体の情報ツールの新聞は、先行きが不透明だと聞いたが、一番信用できる情報を提供しているのは新聞なので、これからもオンラインのニュースやSNSなどに負けずにこれからも県民に正しい情報を提供して欲しい。

宮崎ケーブルテレビ

辻田一貴、井ノ又元気、亀井拓輝、末川武、長友麻耶、米村幸世、溝口友佳梨、熊坂綜真

1．宮崎ケーブルテレビについて

①正式名称：宮崎ケーブルテレビ株式会社

②事業内容：多チャンネル放送に始まり、ネットワーク環境を生かした様々なサービスを提供。ケーブルテレビでは、CS（衛星）放送や鹿児島の民放(KYT鹿児島読売テレビ、KKB鹿児島放送）を放送。

③資本金：12億6500万円

④事業地域：宮崎市、国富町、綾町、西都市、新富町、高鍋町

2．インタビュー内容

Q.どのようなことに興味があってその仕事を選んだのですか？

A.地元への恩返しがしたくて、地元に貢献できる仕事を考えると宮崎ケーブルテレビが合っていた。

Q.仕事をしている中で大変だったことは？

A.ケーブルテレビのサービス内容や仕組みを覚えることや高齢のお客様に分かりやすく説明をすることが大変だった。

Q.コロナウイルスによる影響は？

A.営業先では、家の中に上がらずに玄関先で説明をするようになった。（お茶を出してもらっても受け取れないなど）

テレワークが増えたおかげでインターネットをつなげたいお客様が増えた。

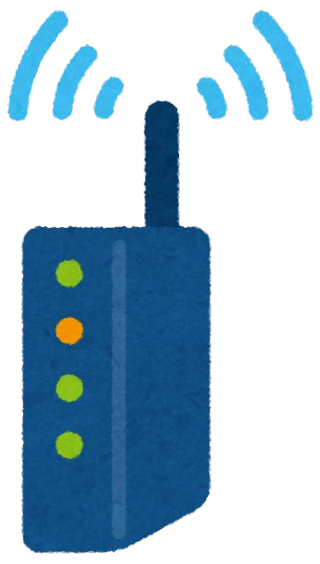
Q.民放が二局しかない宮崎では活動に限界があるのでは？

A.二局しかない宮崎だからこそ他の県と比較すると、ケーブルテレビの需要は高い。

3．宮崎県で働くことのメリット、デメリット

メリット；宮崎に住んでいる人たちが優しい。通勤時間が他の県に比べてかなり短い。気軽に地元の友達と会える。

デメリット；都市部に比べると交通機関が劣るので県外に行きにくい。ライブやイベントなどの娯楽が少ない。



4．感想

・宮崎ケーブルテレビは、テレワークや、オンライン授業など、Wi-Fiやインターネット利用が必要な現代において、重要な会社であると思った。

・宮崎で働くデメリットはほとんどないという事が感じられ、驚きました。

・テレビ局の内部で行われている知られざる番組制作の過程を少しのぞけた気分になって楽しかったです。

・私は、ケーブルテレビそのものについてよく理解できていなかったので、今回のお話で学ぶことが多くありました。仕事をされている中での苦労された経験などを聞いて働くことの大変さを感じ、自分自身の将来のことについて考えるきっかけになりました。

・今回のインタビューの中で地元に貢献できるテレビ局の作成に取り組んでいることや、コロナ禍における対応などしっかりしていて知らなかったことをたくさん知れるいい機会になりました。宮崎で就職することの良さや、地域の人たちとの連携など、地元に根付いたキャリアの形成についてたくさん学ぶことができ、いい経験となりました。

宮崎県庁インタビュー報告

福田紗生　藤原千華　宮平一耀　長谷川昂大　澤永敢　河野向日葵　高松未結　後藤涼
徳重里菜　福田葵　溝上尚弥　森彩花　甲斐大暉　黒木美空

1．基本情報

- 企業名：宮崎県庁
- 代表者：宮崎県知事　河野俊嗣
- 所在地：宮崎市橘通り2丁目10-1
- 創設記念日：1883年7月1日

2．インタビュー内容

①コロナが流行って大変だったことは？在宅ワークはあったか？
・採用試験の延期と試験での感染対策
・在宅ワークはあるが、個人情報を扱うものが多いためできる仕事は限られる

②県庁で働くうえで必要な能力は
・コミュニケーション能力
・折衝能力（妥協点を見つけて交渉する能力）
・協調性
・困難を乗り越えた経験

③入社した理由と仕事のやりがい
・宮崎に貢献したかった
・仕事の内容が多岐にわたる

④過疎化対策のために、新たな名所や名産づくりを行っているか？
・農業水産物の振興（マンゴー、キャビア、宮崎牛など）

⑤転職をしようと思ったことはあるか？
・普段は思わない
・一般企業の業務にも興味はある

3．宮崎で働くことのメリット・デメリット

メリット
- 通勤時間が短い
- 優しい人が多い（県民性）

デメリット
・東京と距離がある。
・賃金が低い。（福利厚生は充実）

4．感想

・メリットの通勤時間が短いことが魅力的に感じた。時間はどのようなことを行う際にも必要不可欠な要素であるためだ。

・宮崎が好きで、それぞれ県庁での仕事にやりがいと誇りを持っているのだなと感じた。

・県庁には多くの部署があり、その部署異動が転職の代わりとなっているのは県庁の特徴の一つだと思った。

・様々な仕事があることが分かった。仕事の幅が広く、いろんな経験ができることが魅力に感じた。

–株式会社　スズキ自販宮崎–

篠原竜之伸・田中結衣・林小百合・米田錬太・久常早紀・黒島夏乃音・竹川千裕

1．企業概要

◎正式名称
株式会社スズキ自販宮崎

◎事業内容
自動車販売、中古車販売、セニアカーの販売・自動車の整備・点検・修理、損害保険代行業務

◎企業理念
「小さなクルマ、大きな未来」をスローガンに、お客様の求める小さなクルマづくり、地球環境に配慮した製品づくりに邁進、法令遵守のもと、安全第一及び品質を第一とし、「小さく・少なく・軽く・短く・美しく」を徹底し、効率的な健全運営に取り組む

2. インタビュー内容

1.入社のきっかけ

・車を通して地元宮崎に貢献したい
・人前で話すのが苦手な性格を変えたい
→あえて営業職を選択
・アットホームな社内の雰囲気が気に入った

2.スズキ自販の魅力

・クロスビー
・ソリオ
・ラパン

・ハスラー
・ジムニー
などなど…

・豊富なラインナップ
→自信を持ってお客様に提案できる

3.軽自動車に力を入れる理由

・装備や機能の向上により、
需要が高まっているため

4.仕事をするうえで意識すること

・時間がかかってでも、丁寧に作業する
・お客様の立場になって考える
・責任感をもつ
・周りの人との関係を大切にする

5.育休は取れるのか

・取りやすい環境
・復帰後は時短勤務できる

6.車が売れる時期

・決算期の３月と９月
・反対に１２月の売り上げは厳しい
（初売りを見込んでいる）

7.コロナの影響

・物流が滞り、海外生産の部品の納期が遅れた

8.企業理念「小さく・少なく・軽く・短く・美しい」の意味

・「小」軽自動車/コンパクトカー
・「少」コストダウン
・「軽」燃費効率向上
・「短」作業工程短縮
・「美」ムダのない美しいデザイン

9.他社とのライバル意識

・ほとんどない
・他社の車の良さも知る必要があるため、客になりすまして他社に行くこともある

3. 宮崎で働くメリット・デメリット

メリット
宮崎で車は「必需品」
車を通して多くの人の生活を支えていること
がやりがい

デメリット
他県とと比較すると、賃金がやや低め

4. 感想

◎消費者のニーズに幅広く対応していることに加え、部品の軽量化やコンパクトなデザインなど環境への配慮がされているのが印象的
◎会社の雰囲気が良く、福利厚生が充実してあることが伝わってきた
◎産休、育休制度が整っているか、また実際に取得している人がいるのか、就活のときに見極めることが必要だと知った
◎車の販売製造以上に、車を通して私たちの生活や人生を支えている会社だということがわかった
◎軽自動車以外にも、セニアカーやバイクを作っていて、さらに興味が湧いた
◎スズキに関することだけでなく、大学生のうちにしておくべきことや就活でのポイントも聞くことができたので今後に活かしていきたい

霧島酒造

井上・大坪・大津留・甲斐・加藤・栗空
佐藤・下村・永野原・三谷宮・宮地・山下

1. 霧島酒造について

①正式名称
霧島酒造株式会社

②所在地・設立年月日
宮崎県都城市・大正5年5月

③事業内容
焼酎・クラフトビール・パンの製造および販売
レストラン事業の経営
焼酎粕のリサイクル処理、エネルギー化

④企業・経営理念
「価値の創造・感動の創造・信頼の創造」

2. インタビューの内容

Q. 新商品を作るうえで大切にしていることは？

A. 世の中のニーズにこたえる
ターゲティングを行う

Q. 製造過程や味のこだわりは？

A. 焼酎生産で使用するのは霧島裂罅水・九州産サツマイモ・国産米
原料にこだわり自社工場での生産、出荷を行っている

Q. 環境保全活動について教えてください

A. 段ボールの使用量を削減
製造に使用した温水をボイラーや冬の暖房に利用
サツマイモ発電

Q. アルコール度数が県内と県外で違うのはなぜ？

A. 現在も判明していない。諸説あり。

Q. 飲みニケーション制度とは？

A. 同じ職場の人と親睦を深めるための飲み会制度。飲食代・タクシー代は会社負担

Q. クラフトビールはどこで買える？

A. 宮崎空港・ファクトリーガーデン（数量限定）

Q. 近年急激に成長した理由は？

A. 焼酎ブーム・社会ブーム「黒」・マスコミの発信力

3. 宮崎で働くこと

メリット

自然豊か・食事がおいしい・物価が安い・
子育てにやさしい・通勤時間が短い

デメリット

車がないと移動が不便

4. 感想

・大正時代に創業し104年という長い歴史があるため古き良き企業というイメージがあったが、従業員の平均年齢が約30歳であることや、サツマイモ発電などの環境保全活動に取り組んでいることを知り、想像以上に現代的であり時代の変化に柔軟な企業という印象に変わった。また、「黒」がつくものは体にイイという健康ブームの一環流行でブレイクしたことや県内外でアルコール同数が違うことなど、社会的背景に関連したエピソードがあり面白かった。

・飲みニケーション制度など、お酒を造る企業ならではの制度があり特徴的だった。女性向けに作られた茜霧島の商品開発や、クラフトビールの製造・ベーカリー事業などの焼酎製造以外の取り組みも積極的に行っていることを初めて知った。また、これから成人して社会人になるにつれてお酒を飲む機会が増えてくると思うので、その中で霧島酒造の焼酎も楽しめるようになりたい。

株式会社宮崎太陽銀行

松本浩弥、野涯杏実、喜屋武萌香 、前泊姫那子、肥田木悠斗、齋藤聖太、田中千歳、山城梨央

1．　会社概要

（1）正式名称（商号）　株式会社宮崎太陽銀行
（2）事業内容
　「三大業務」
　①預金　②貸出（融資）　③為替（送金）
　「内務業務」
　「融資、渉外業務」
（3）創立：1941年（昭和16年）8月1日
（4）預金残高：６,９６５億円
　貸出金残高：５,１６９億円
（5）従業員数：887名

2、インタビューの内容

(1)Q、1日の流れ、部署ごとの仕事内容

A,就業時間…8:30～17:30

部署ごとの仕事内容
・人事部…給与、移動、採用、育成等
・地域活性化部…本業支援

(2)Q,地域貢献活動について
A,「内容」…地域の祭りへの参加、小さな親切運動
「メリット」…銀行業務外で地域に貢献できる
　行員間の距離が近くなる
　地域の方々との会話

(3)Q,成長したこと、プラスになったこと
A,「学習意欲の向上」…身につけたことを実践する
お客様から選ばれ続ける銀行員になるため、日々努力が必要。その積み重ねが様々な場面で生かされる。

(4)Q,働く上で必要なこと、それを踏まえて今私たちがすべきこと
A,『必要なこと』…　創造する力、解決する力
★社会人は「新しい価値を見出すこと」と、「世の中の問題を解決すること」が求められる。
『私たちがすべきこと』…大学生活の中で意識して考動すること

(5)Q,他銀行との差別化をどのように図っているか
A,本業支援に注力し、差別化を図っている。
宮崎太陽銀行さんが目指す『お客様から選ばれ続ける銀行』になるためにお客様にニーズに応え、喜んでもらえることを常に追求している。
＊本業支援…お客様の経営課題を解決する業務

3．宮崎で働くことについて

メリット…通勤時間が短い、自分の時間がたくさんとれる

デメリット…多種多様な方との出会いが少ない（今はオンラインの普及のおかげで出会いは増えています！）

4．感想

・インタビューを通して宮崎太陽銀行さんは、お客様第一の地域に根ざした企業だという事が分かり、宮崎に住む者としてとても心強く感じた。
・ただ学ぶだけではなくて、それを実践する力をつけることが大切だと思った。
・銀行を選択するには際担当者の人柄や接客態度で決められることもあり、この商品があるから…ではなく“あなただから”と言われる人になるべきだという言葉がすごく心に響いた。
・銀行での仕事で得たスキルをそれ以外の場面でアウトプットしていけることは強みになると感じた。
・本業支援について初めて聞いたが、お客様との信頼関係があってこそできると感じたので、宮崎太陽銀行さんが今までにたくさんのお客様と時間をかけて関係性を築き上げてきたのだと感じることができた。
・企業インタビューを行って、日頃からお世話になっている宮崎太陽銀行さんの実態を少し知ることができた。この情報を就活で生かしていけるようにこれからの大学生活を有意義なものにしていきたい。
・銀行業務だけが仕事ではなく地域の方々との交流を大切にしていることを知って、仕事だけではなく人を大切にできる銀行であると感じた。

株式会社宮崎放送

藤原翔･安田清一郎･生田優里･大坪千里･倉地美樹･谷颯太･野坂真緒･牧之瀬向日葵･山口恭平･山本華蓮･柚木原香好

1. 企業情報

①**正式名称**　株式会社宮崎放送

②**事業内容**　ラジオ・テレビ放送

③**MRTグループ**
- MRT micc→テナントビル管理運営、貸ホール業、貸駐車場業
- MRT ad→広告代理店
- デンサン→IT系、企業向けのアプリ製作
- Trade Media Japan→海外の支社(台湾)との連携、在籍は3人

2. インタビュー内容

①**仕事のやりがい・大変なこと**

◇やりがい
- 社外で仕事をして色々な考えに触れることができたとき
- 発信力があると感じたとき

◇大変なこと
- 苦手を克服することが難しい
- 理不尽なことに直面したとき

②**新人研修**
- 各部署を回り、基礎を理解する
- 自衛隊研修で集団行動を学ぶ

③**会社が求める人材**
- 何事にも前向きに取り組める人
- 自分で考えられる力を持っている人
- 行動力のある人
- 色々な経験をしている人

④**他支部との連携**
- スポンサーの本社がある現地の支部が営業に行き、スポンサーを獲得する

⑤**宮崎放送に就職した理由**
- 宮崎が好きだった
- テレビが身近な存在であった
- 地域のディープな部分が発見できる

3. 宮崎で働くこと

メリット
- 家族や友人が近くにいる
- 住みやすい

デメリット
- 交通の便が良くない

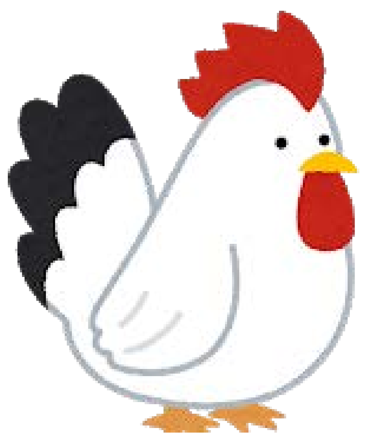
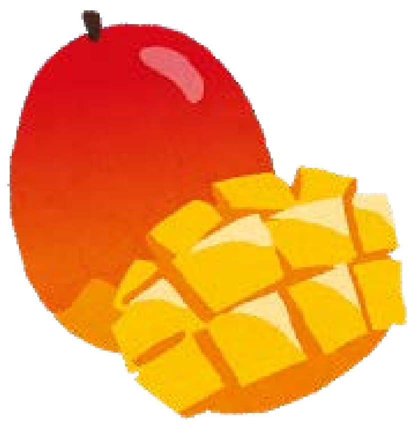
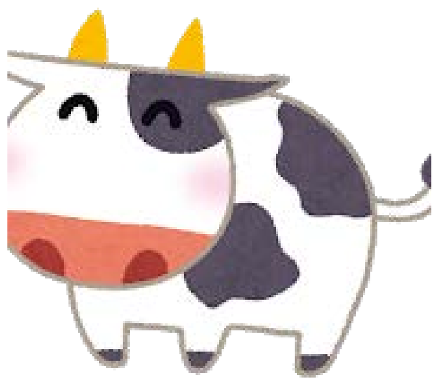
→コロナ禍でのZoomなどの活用によって緩和

4. 考えたこと･感じたこと

まず最初にMRTグループという組織の存在に驚いた。MRTグループの中でもそれぞれやっていることが様々で、一見テレビやラジオと関係のないようなことも行っていたので、新しい発見となった。

また、MRT独自のイベントの企画・運営を行っていたり、オリジナルのテレビ番組の制作をしていると聞いて、宮崎を盛り上げていこうという気持ちがとても伝わってきた。

これからテレビを見るときやラジオを聞くときに、色々な人たちの様々な活動が関わっていることを意識してみたいと思った。

宮崎商工会議所

長田海翔　東　恵里花　南出菜月　島木啓吾　徳満南帆　諌山直寛　津村暢宏

1.商工会議所について

宮崎商工会議所は昭和4年（1929年）に設立。
宮崎商工会議所では、会員様の経営改善のお手伝いを行っている。また、経営者をはじめ従業員のスキルアップにつながる検定試験やセミナー、福利厚生制度の運営、地域活性化のためのイベント（花火大会、神武さま）などを行っている。

☆仕事内容☆
・経営相談
・資金計画
・共済制度など

宮崎商工会議所
The Miyazaki Chamber of Commerce and Industry

2. インタビュー内容

①宮崎商工会議所の取り組みは？

⇒プレミアム商品券の発行
　会議室を貸す

⇒創業支援率が高い（全国上位）

②一日の仕事の流れは？

8：45　朝礼（仕事内容の確認）

↓
入会対応希望の対応
窓口・電話対応
広報作成

17：30　退社

★月に一回朝一で宮崎駅の清掃

③資金調達やお金の流れはどうなっていますか？

⇒資金
(1)会費（入会費と年会費）
(2)保険料（企業支援）
(3)補助金（国の事業に参加）
(4)その他（みやざき観光文化検定の受験料）

⇒予算は１３億円！！

④宮崎商工会議所を選んだ理由は？

⇒何をしている所なのか分からなかったので
　気になった

⇒仕事内容が多様
　・情報紙の作成・会員への対応
　・資金計画・新年賀詞交換会の準備

3. 宮崎で働くこと

メリット

・地元への恩返しができること。（宮崎県出身者）

・宮崎県に土地勘があること。

・通勤時間が短いこと。

デメリット

・宮崎県出身者はあまり県外に出た経験がなく
　他県との比較が難しいこと。

・都会と比較して情報差があること。

・賃金の安さ。

・交通網の悪さ。

4. 感想

・初めて商会議所について知ったが、身近なイベントにも携わっていて身近な存在であることに気づきました。
・宮崎を活性化させるために、イベントの企画運営や起業応援のお手伝いをしており、今まで参加していたイベントは商工会議所の方のおかげという事を知ることができた。
・飽き性な人に向いているといった商工会議所の方のコメントが一番印象的だった。業務内容が多種多様で、魅力的なところだと感じた。
・実際に会員からのフィードバックがイベントや商品開発に活用されており、宮崎県への活性化という点で私達と密接に関わっていることを学べた。
・イベントに携わる以外でも、中小企業をサポートすることで県内の活性化を狙おうという取り組みは知らなかったので驚きであった。

グループ：ソラシドエア①

ソラシドエア

メンバー：田中香南海、富高綾乃、安在琳世、矢野伊吹、古本加奈子、塚本智絵、舟田朱里、松田あかり、森悠花、濵砂菜穂、伊東咲希、湯地なつ美

1．企業の情報

1.企業名：株式会社ソラシドエア
2.事業内容：航空運送事業
3.代表者：高橋宏輔さん
　所在地：宮崎市大字赤江宮崎空港内
　設立年月日：1997.7.3
4.資本金：23億4559万円
　売上高：419億7300万円（2019年）
　従業員数：850人（2019年）
5.経営理念：安全を経営の基盤とし、サスティナブルな企業経営と地域社会への貢献を目指す。

・安全理念：
　・安全は経営の基盤であり航空輸送の原点である
　・安全の確保には相互信頼と良好なコミュニケーションが必要である
　・社員は安全に対する責任を自覚し絶えず努力しなければならない

2．内容

- ブランドプロミス：「空から笑顔の種をまく」
  人と人が向かい合う時、笑顔が生まれる
- 職種：総合職（事務・技術）、運航乗務職、客室乗務職
- コーポレートカラー：ソラシドピスタチオグリーン

- 13路線・一日40往復・80便
- 売上は13期連続で黒字だった
- 求められる人材：「チームを育む、変える、果たす」人材
- 地域密着型の取り組み
  - 九州の特産品に特化した機内販売・機内サービス
  - 地域応援のために、「空恋プロジェクト」27の自治体へ航空機を貸し出して、広告として利用できるよ　うに
  - 学校での航空教室を開催

- 福利厚生：
  ・育休・産休がとりやすく、復帰しやすい、男性も休暇を取りやすい
  ・自社（空席があれば二等親まで無料）、他社（ANA）便優待券

3．宮崎で働くこと

・メリット：地域の情報がリアルタイムで入ってくる。地域から応援を受けた時、お客様に地域の魅力が伝わったと感じる時にやりがいを感じる。
・デメリット：活動地域が日本全国ではない。

4．質問と答え

Q.新入社員の採用においてコロナの影響は？
A.2021年は新卒採用をするが、2022年はまだ決定しておらず

Q.CAさんは赤い口紅という印象があるのですが、会社で決まっているのですか？
A.会社としては決まっていないが、CAさんが制服に合わせて口紅の色もコーディネートすることが多い。

Q.どんな福利厚生があるか？
A.自社便優待券と他社便優待券(ANA)が使用可能

Q.コロナによる会社の影響、変化したことは？
A.上期（4月から9月）の収入が減った
変形労働時間制を取り入れるようになった

Q.機体14機すべて同じ機体なのか
A. 統一の機種だと余剰の部分が、必要なくなるから。

5．感想

・「地域密着型の航空会社」というのが印象に残った。九州の魅力を発信できるのは、ソラシドエアならではだと感じ、他の航空会社にはない強みだと思った。

・ソラシドエアという素晴らしい企業が地元にあるのは誇らしく、その良さを知るとともに、自分も会社の活動を盛り上げられる一員になる人材になりたいと思った。

・女性が活躍しやすい職場であることはとても良い企業であると思った。さらに地域との関りがとても深く、どうすれば満足できるサービスを提供できるかといったお客様と地域ファーストであることにとても魅力を感じた。

・福利厚生がしっかりしていて社割で無料で飛行機に乗ることができることがとてもいいなと思った。それに地域応援のための空恋プロジェクトもすごく画期的だなと思いました。

・福利厚生や職場の雰囲気など、現場にいないとわからないことを知るいい機会になった。また、自分が住んでいる地域に、こんなにも地域密着型の会社があることを初めて知れた。

・コロナで最も影響を受けているといっても過言ではない、航空業界さんの生の声を聴くことができ、とても参考になりました。

・今回の話を聞くことで、ずっと入りたかった航空業界の内容を理解し、知識を深めることができました。